

2019 年度事業報告

I 一般事項

1 会員の動向

年度当初 148 名であった会員数は、6 名の異動があり、2020 年 3 月末現在で 145 名である。

単位:名

	2019 年 4 月 1 日	入会	退会	2020 年 3 月 31 日	増・減(△)
特別会員	34	0	0	34	0
通常会員	114	2	5	111	△3
合計	148	2	5	145	△3

2 通常総会

2019 年 4 月 18 日、ホテル WBF グランデ旭川マルウンホールにおいて開催し、次の議案について原案どおり可決・承認された。

(1) 会員の出席状況

単位:名、%

会員総数	出席者数			出席率
	本人出席	委任状出席	合計	
	20	105	125	86

(2) 議案

ア 報告事項

平成 30 年度事業報告について

イ 審議事項

第 1 号議案 平成 30 年度計算書類及び財産目録の承認について

第 2 号議案 定款の改正について

第 3 号議案 会費の額について

第 4 号議案 役員の報酬額について

第 5 号議案 役員の改選について

ウ その他

平成 31 年度事業計画及び収支予算について

3 理事会

(1) 第 1 回理事会

2019 年 4 月 18 日、理事 7 名の出席のもと、ホテル WBF グランデ旭川マルウンホールで開催し、次の議案について原案どおり可決・承認された。

議案

ア 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び収支決算の承認について

イ 第 2 号議案 平成 31 年度通常総会議案について

(2) 第2回理事会

2019年4月18日、理事10名の出席のもと、ホテルWBF グランデ旭川マルウンホールで開催し、次の議案について原案どおり可決・承認された。

議案

- 1 会長、副会長、専務理事及び常任理事の選任の件

(3) 第3回理事会

2020年2月15日、理事8名の出席のもと、ホテルWBF グランデ旭川マルウンホールで開催し、次の議案について原案どおり可決・承認された。

(1) 報告事項

- ア 2019年度事業計画の執行状況
イ 2019年度収支予算の執行状況について
ウ 2019年度会員企業支援事業に係る選定結果について

(2) 協議事項

- ア 第1号議案 入・退会者の承認について
イ 第2号議案 2020年度事業計画及び収支予算の決定について

(3) その他

- ア 総会記念講演について
イ 臨時職員の雇用について

4 監査

2020年4月21日および4月22日の両日、監事による2019年度監査が行われた。

II 事業実施状況

1 林産技術普及事業

(1) 木材利用に関する相談事業

事業体や一般市民からの道産材を利用した住宅建設、内装材及び木材の利用に関する相談に応えるとともに、研究機関や取扱事業体を紹介した。

(2) イベントの開催

ア 講演会の開催

2019年4月18日(木)、「総会記念講演」を開催した。

講師 酒井 里佳 氏

演題 都心における建物への木材利用 ―みなとモデルが繋ぐ都市と森―

聴講者 68名

概要 ウッディエイジ2019年8月号で紹介

イ 「木になるフェスティバル」事業

「木になるフェスティバル」を林産試験場と共催した。

開催日 7月20日(土)

来場者 690名

内容 普及協会 2件

- ・葉っぱのスタンプ
 - ・木工クラフト、木っ端、木チップ、飲み物販売
- 林産試験場 13 件

ウ 「森林・建築セミナー」事業

北海道内の建築系の大学生を対象に、林業、林産業、木造建築（川上～川中～川下）に関する研修を行うことを目的とするセミナーを共催した。

開催日 9月23日(月)～9月25日(水)

開催地 釧路総合振興局管内

参加者 17名（北海学園大学、室蘭工業大学、北海道大学）

主催者 北海道森林建築セミナー実行委員会

共催者 （一社）北海道林産技術普及協会、北海道木材産業協同組合連合会
（地独）道総研林産試験場、（地独）道総研林業試験場

概要 ウッディエイジ2020年1月号で紹介

エ 見学会

道総研林産試験場構内に建設され、7月に竣工した CLT 性能評価実験棟「Hokkaido CLT Pavilion」の見学会を、(公社)日本木材加工技術協会北海道支部と共催した。見学会に先立ち、3名の講師に講演していただいた。

講演 最近の CLT 建築事例 酒井 洋氏（日本 CLT 協会）
北海道の森を活かす新しい木造の建築 遠藤謙一良氏（(株)遠藤建築アトリエ）
CLT パビリオンを実現した技術と建設状況 大橋義徳氏（道総研林産試験場）

開催日 8月22日(木)

参加者 39名

概要 ウッディエイジ2019年12月号で紹介

(3) 会誌、図書の発行事業

会誌「ウッディエイジ(木材の研究と普及)」を月刊発行(788～799号)し、会員内外へ配布した。また、試験機関、大学、事業体、一般の方へ会誌及び木材乾燥等の技術資料を頒布した。

(4) ホームページの活用

ホームページでイベントや講習会開催等の情報提供を行った。

2 その他事業

(1) 展示品維持管理事業

林産試験場から「木と暮らしの情報館」に係る「展示品維持管理業務」を受託した。

(2) きのこ栽培試験管理事業

林産試験場から「きのこ栽培試験管理業務」を受託した。

(3) 講習事業

ア 木材接着講習会

(公社)日本木材加工技術協会北海道支部と共催した。

開催日 2019年7月11日(木)～12日(金) 2日間

会場 林産試験場講堂

受講者 5名

イ 林産技術セミナー

林産試験場が実施する林産技術セミナーを後援した。

内容：耐用年数推定による防腐薬剤処理木材の維持管理技術について

開催日 2020年2月13日（木）

会場 林産試験場講堂

参加者 30名

(4) 連携事業

地域材の利用拡大を目的とした「上川地域水平連携協議会」の事務局として活動した。

(一社)全国木材組合連合会が公募した「顔の見える木材での快適空間づくり事業」に、「トドマツ厚板による防耐火構造外壁の普及」を応募し、採択され、事業を実施した。事業で作成した「トドマツ防耐火外装ハンドブック」を会員に配布した。

(6) 会員企業支援事業

林産試験場に対する依頼試験、設備使用等を実施した会員に、所用経費の1/2を助成した。